









































# 業界天気図

Sector Outlook at a Glance

業界	コメント	足元 → 3ヵ月後
ガラス・土石	海外パネルメーカーの売上動向に変化の兆しがみられるが、液晶ガラス基板の販売は依然厳しく、在庫調整の影響が続こう。	 → 
化学	原燃料高により一部製品の値上げ公表が相次ぐ。しかし電機業界を中心に汎用品の需要は弱く、販売低迷が継続しよう。	 → 
トイレタリー	化粧品は震災の影響の一巡で、今後は前年比で堅調な推移が予想される。一方、家庭用品は値下げ競争の再発が懸念される。	 → 
鉄鋼	中国の金融緩和の後押しで鋼材価格は上昇傾向。高炉も輸出価格の引き上げを狙うが、国内向けは値下げの可能性が残る。	 → 
非鉄金属	非鉄金属価格は春先の需要期を控え2月の高値を試す展開となろう。ただし実需の回復は緩やかで夏場以降は下落を想定。	 → 
造船・プラント	船舶需要は低迷。電力確保のためのガスタービン、ボイラーなどLNG火力発電プラント関連部材の需要拡大が見込まれる。	 → 
機械	欧州や中国の減速によって、受注は踊り場局面。北米や東南アジアが下支え。自動車関連の海外投資は堅調な推移が続こう。	 → 
電子部品	1月を底に緩やかな回復傾向。しばらく続いた在庫調整が終わったとみる。新型タブレットPC向けなどの受注が足元で増加。	 → 
家電・AV	液晶テレビやレコーダー、パソコンなどは低調。一方、LED照明、ストレージ、無線LANアクセスポイントなどが堅調に推移。	 → 
自動車	震災による生産減を補うための挽回生産が継続。タイの洪水影響を相殺するための増産も押し上げ要因に。	 → 
外食・その他サービス	既存店売上高が全般的に低迷する中、一部に堅調な動きがみられる。3~5月は全般的に震災の反動増が期待できよう。	 → 
小売	コンビニ、スーパーは、震災特需の反動が懸念される。一方、百貨店は、ハードルが低い比較堅調な推移となろう。	 → 
金融	カードキャッシングは減少幅が縮小。カードショッピングは堅調持続。リースは土木建設機械など一部機種に復興需要が顕在化。	 → 
住宅・不動産	12年の東京オフィス市場は景気停滞による賃料下落が続く見込み。賃料引き下げを通じ空室率は緩やかに改善すると予想。	 → 
運輸・倉庫	海運のコンテナ運賃が回復傾向。JRなど鉄道の業績は堅調に推移。今後は復興需要による輸送拡大に期待。	 → 
エネルギー	原油価格は地政学リスク等で、今後も高止まり傾向が続こう。一方、石油製品マージンは価格転嫁困難で悪化する懸念あり。	 → 
情報サービス	日銀短観ソフトウェア投資や機械受注などの統計指標は、それぞれ先々の売上高見通しが比較的明るいことを示している。	 → 
インターネット	ソーシャルゲームは全般的に堅調な推移が見込まれるが、課金上限などへの規制強化の可能性が不透明要因。	 → 
エンターテインメント	家庭用ゲーム市場はニンテンドー3DSの普及加速で回復を確認する局面へ。アミューズメント施設は既存店の回復が一服へ。	 → 
通信	auは3月から固定通信とスマホの割引プランを導入。出だしは好調のもよう。3月は最大の商戦期、スマホの販売拡大に期待。	 → 

注)各業界に付けられたお天気マークは、弊社の各アナリストが各種データや日常業務のなかで得た情報などをもとに、各業界の業績動向について独自に判断したものです。それぞれ、概ね☀:良好、☁:調整、☔:低迷といったイメージを表しています。

## 手数料およびリスクについての重要な注意事項

### <有価証券や金銭のお預りについて>

株式、優先出資証券等を当社の口座へお預けになる場合は、1年間に3,150円（税込み）の口座管理料をいただきます。加えて外国証券をお預けの場合には、1年間に3,150円（税込み）の口座管理料をいただきます。ただし、当社が定める条件を満たした場合は当該口座管理料を無料といたします。なお、上記以外の有価証券や金銭のお預りについては料金をいたしません。さらに、証券保管振替機構を通じて他社へ株式等を口座振替する場合には、口座振替する数量に応じて、1銘柄あたり6,300円（税込み）を上限として口座振替手数料をいただきます。

お取引にあたっては「金銭・有価証券の預託、記帳及び振替に関する契約のご説明」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

### <株 式>

株式の売買取引には、約定代金に対し、最大1.2075%（税込み）（手数料金額が2,625円を下回った場合は2,625円（税込み））の売買手数料をいただきます。ただし、株式累積投資は一律1.2075%（税込み）の売買手数料となります。国内株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

外国株式の売買取引には、約定代金に対し、最大1.3125%（税込み）の売買手数料をいただきます。

※外国証券の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および公租公課その他の賦課金が発生します（外国取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その合計金額等をあらかじめ記載することはできません）。外国株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

- ・株式は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による株価の変動によって損失が生じるおそれがあります。
- ・株式は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・また、外国株式については、為替相場の変動によって、売却後に円換算した場合の額が下落することによって損失が生じるおそれがあります。

### <債 券>

債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

- ・債券は、金利水準、株式相場、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による債券価格の変動によって損失が生じるおそれがあります。
- ・債券は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、債券価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・また、元本・利子の支払いの滞りおよび支払い不能が生じるおそれがあります。
- ・平成25年1月以後に支払われる利子（当該利子に係る経過利子の計算を含みます）から、復興特別所得税を付加した20.315%の源泉徴収税率が適用されます。

### <個人向け国債>

個人向け国債を募集により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。個人向け国債を中途換金する際は、次の計算によって算出される中途換金調整額が、売却される額面金額に経過利子を加えた金額より差し引かれます（変動10年・固定3年：直前2回分の各利子（税引前）相当額×0.8、固定5年：直前4回分（平成24年4月以降は直前2回分）の各利子（税引前）相当額×0.8、平成25年1月以降は何れも直前2回分の各利子（税引前）相当額×0.79685）。

- ・個人向け国債は、安全性の高い金融商品ですが、発行体である日本国政府の信用状況の悪化等により、元本や利子の支払いが滞ったり、支払い不能が生じるおそれがあります。

### <転換社債型新株予約権付社債（転換社債）>

国内市場上場転換社債の売買取引には、約定代金に対し、最大1.05%（税込み）（手数料金額が2,625円を下回った場合は2,625円（税込み））の売買手数料をいただきます。転換社債を募集等によりご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。転換社債は転換もしくは新株予約権の行使対象株式の価格下落や金利変動等による転換社債価格の下落により損失が生じるおそれがあります。また、外貨建て転換社債は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

- ・平成25年1月以後に支払われる利子（当該利子に係る経過利子の計算を含みます）から、復興特別所得税を付加した20.315%の源泉徴収税率が適用されます。

#### <投資信託>

投資信託のお申込みにあたっては、銘柄ごとに設定された費用をご負担いただきます。

- ・お申込時に直接ご負担いただく費用：お申込手数料（お申込金額に対して最大4.20%（税込み））
- ・保有期間中に間接的にご負担いただく費用：信託報酬（信託財産の純資産総額に対して最大年率2.197%（税込み））
- ・換金時に直接ご負担いただく費用：換金手数料（お申込金額に対して1口当り最大3.0%）  
また、信託財産留保金（換金時に適用される基準価額に対して最大0.5%）
- ・その他の費用：監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が必要となり、商品ごとに費用は異なります。お客様にご負担いただく費用の総額は、投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、記載することができません（外国投資信託の場合も同様です）。
- ・投資信託は、国内外の株式や債券等の金融商品に投資する商品ですので、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が下落することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・投資信託は、組入れた有価証券の発行者（或いは、受益証券に対する保証が付いている場合はその保証会社）の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が変動することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・上記記載の手数料等の費用の最大値は今後変更される場合があります。

#### <信用取引>

信用取引には、約定代金に対し、最大1.2075%（税込み）（手数料金額が2,625円を下回った場合は2,625円（税込み））の売買手数料、管理費および権利処理手数料をいただきます。また、買付けの場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託証拠金は、売買代金の30%以上で、かつ300万円以上の額が必要です。信用取引では、委託証拠金の約3.3倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

○金融商品は、個別の金融商品ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なります。当該金融商品の取引契約をされる場合、その金融商品の「契約締結前交付書面」（もしくは目論見書）または「上場有価証券等書面」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

○この資料は岡三証券が信頼できると判断した情報に基づいて作成されたものですがその情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、資料中の記載内容、数値、図表等は、本資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本資料に記載されたいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。

○岡三証券およびその関係会社、役職員が、この資料に記載されている証券もしくは金融商品について自己売買または委託売買取引を行う場合があります。

○自然災害等不測の事態により金融商品取引市場が取引を行えない場合は売買執行が行えないことがあります。

### 岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第53号

加入協会：日本証券業協会

（平成24年3月現在）